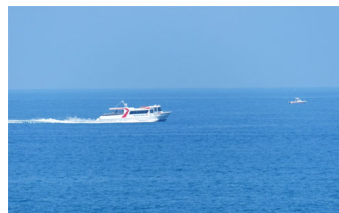
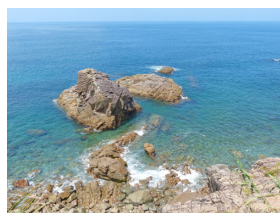
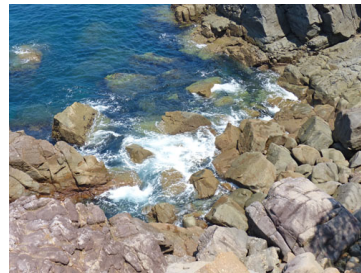
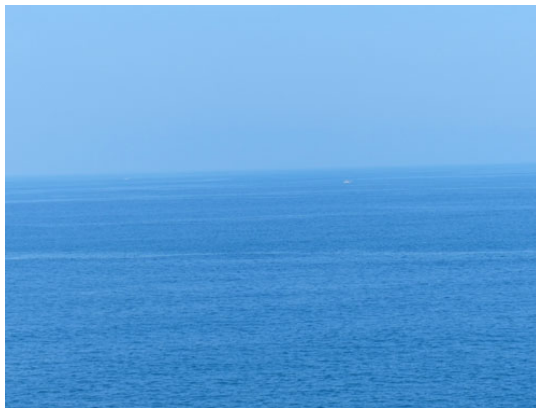


## 4083 ママチャリ日本縦断の旅：下田・五足の靴文学散歩道

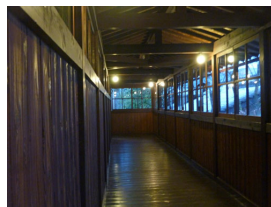
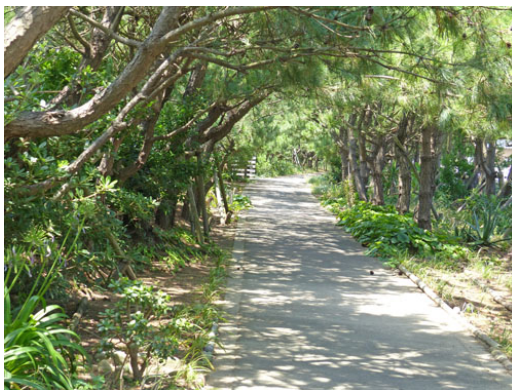
この海岸線、サンセットラインと呼ばれている。そして、下田温泉。  
五足の靴、文学散歩・遊歩道。3.2キロ。約2時間かかる。今回は、通り過ぎるだけ。  
明治40年の夏、与謝野鉄幹、北原白秋、平野萬里、吉井勇、木下杢太郎、  
5人の詩人が通った道で、天草西海岸の雄大な景色が見られるので、今も広報材料として。  
久楽自身のひとり旅も、文人がたどった所は興味もあって、訪ねている。  
なぜ、立地、どんな宿か、温泉は？ 文人や芸術家の先人は何を感じたのだろうか、  
熊本県や長崎県には、火山もあって、温泉地も多い。



今回の旅の目標は、ママチャリにて、京都まで、完歩、完走すること。  
今回、自転車が一番売れない県・長崎県を通過。なぜなら、坂が多く、身をもって実体験。

さすがの久楽も、ママチャリでは、1回で充分。

その後、長崎市から諫早市、雲仙の山越えで、島原市、そして、熊本城へ。  
夕日は、雲仙登坂の前に、小浜温泉に宿泊。その絶景を、ご紹介する予定。いろいろ夢想。



心身健康維持と楽しいことを思い浮かべないと、今回の旅が続かない。露店風呂。

五足の遊歩道の入り口、木陰が誘惑。夢でスタート、ロマンで進展。

現実との遭遇。気分転換も必要。しかし、気持ちを切り替え、わりきって、次に、前進。

それにしても、日差しが厳しい。小さな町でも、自動販売機だけはある。

海水浴場も見えた。水浴びもしたいところだが、我慢。

食料と水の購入。その時、注文したかき氷。一口目、口の中が、びっくり。

その後は、味わって、いただいた。至福のひと時。美味しかった。